

てんご新聞

4.3 No.201
 発行所 市岡日出夫
 電話 0883-88-5292

あれ、今日はいつもより寒まじ、
 がいいのかなめと感ひながら
 部屋へと。
 通路にこんな新聞をいつい
 張つ飾つある。こつやこ見
 るとええさん心なるとドアを

節分前の暖かさはやぶり変
 だった。

全国的に何と云い張りとか観測史
 上はじめての大寒だとかで何日周
 か大寒だった地域も多かたに
 ニース。

祖谷も降りまして、三つら四つ
 二つ以上。といつても大寒といつ
 事ははびわにが水分量が多か
 つて様が重かった。その上、朝晩
 は氷点下。一日か二日、出る用件が
 あつても無理な處もありました。

我が家の方でも車が走りま
 せん。任分はいのど庭の雪かき
 巨しはがら読書。

時々外を眺めると、まだ降つて
 いる。気分はマイナス。

ろくろ、道路は土建業の白こ
 ろ人がお仕事で除雪をしてくれる
 のび愛車の軽トラが走れる様
 になる。さぶ知りあいの一人暮ら
 しのおぼあ一人の所へ雪かきに
 行く。一時同化して時、つらつ
 げんは凍こころのび早よ来、よ
 と連絡が入る。

そつ、二月だけが新年念のびが予
 定されていなのびです。何んが皆
 んは早いのだらうのび、雪はの
 び早く始めるのかは危いに走
 えて急いで友人をへ。

うとぎありあ

たんご新聞
 200

あけると、皆んはニコニコして、自分の方に注目してこ
 る。へんごりやとみれば、へんと、今日の新年会へは私
 にだけの連絡で、本当は、こんな新聞の号のお祝いの
 パーティーだったのだ。

雪ばかりが重かたに自分へ、どこかへ行くんじつこ
 しまつサアライズ。皆んはの鳴うまくるカーとほ真
 のてつ、うとぎ迎えよう。

それからの数時間、まごで夢の中。レタイして二十
 年が、ここに凝縮した様。

表紙をしてくれるは、心のこもつた、華云があつたり
 待に変装して一人ひとりがお祝の言葉、色紙が
 あつたりプレゼントもあつたり、本当に、正月とお魚が一



緒に来たとは、こんな時を言つたのびじつ。
 ろう雪の上に乗つてる様、ひの重たことをはりけど、ま
 フツして長分。そこそそ料理の数々、小まなケーキ
 まごもある。

あまりにも、いい事ばかりのび、これが人生のセ
 ンじつ。明日からは、下るばかりかた心配にもな
 ってくる。いや、本当、一週内は、へんが、ボーンとし
 2にみだり。

本当に、ありがとつ、祖谷にも人の帰つて来
 之良かった。皆んはと仲良くしてこよかつたよ。

へんから、おのり刺激しあつて、祖谷の暮らし
 を築きみまします。

まだ、お手紙やメール等びタンのび白さんからお祝ひ
 言葉、励ましの言葉を頂きました。ありがとつご
 ざいまして。まだ、丁新聞にも載せていじごき、果
 内から、貝ましたよ、丁新聞送つて、とか知らはり、
 かつごお声かけのびつらつ、連絡が、ありまして、
 ありがとつございます。まご、おのり、つらつ、新聞

